

【単元名】

夏がいっぱい（全2時間）

【単元目標】

◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知（1）ア）

○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を増やすことができる。（知（1）オ）

| 指導計画 |                                                 |
|------|-------------------------------------------------|
| 次    | （時数） ◎本時                                        |
| 1    | ◎夏をかんじる言葉を、探しカードに書く。カードを発表し合う。                  |
| 2    | 夏を感じる言葉とそれにまつわる経験を思い出して、文を書く。カードを発表し合い、感想を交流する。 |

【本時の目標】（1／2時）

夏を感じる言葉とそれにまつわる経験を思い出して、タブレットを使って書き出す。

【本時の評価規準】

積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。（思・表）

【東戸山小授業を観る視点】

○教材活用について

昨年度担当した学年のため教材について見通しをもって進めたり、活用方法に改良を加えたりできることが効果的な指導につながる。

○タブレットの有効活用について

タブレットを使って記述する場面を設定することで鉛筆による記述に抵抗を感じている児童も参加し、自分の意見を発信できるようにする。

七月三日（水）

夏がいっぱい

めあて

夏をかんじることばを見つけよう。

夏

学習感想

夏をかんじることばがたくさん見つかった。  
スイカを食べると夏だなんて思う。

やさい

トマト  
なす  
ピーマン

むし

せみ  
かぶとむし  
くわがたむし

そのほか

花火  
海

しょくぶつ

あさがお  
ひまわり

| まとめ                                                                |  | 展開                                                                                                                  |  | 導入                                                                                                |  | 学習過程                                                  |  |
|--------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------|--|
| ○学習感想を発表する。<br>○次時の見通しをもつ。<br>・次時までには夏を感じるものを見つけたら、撮影しておくようにしてもよい。 |  | ○グループ内で、カードに書いた夏を感じるものとそのときの気もちを発表し合う。<br>・「くわがた虫」です。おとうさんと捕まえました。<br>・「花火」です。夏に家族で見に行きました。<br>・タブレットを操作して、互いに見せ合う。 |  | ○夏を感じる言葉を探して、タブレットを使って書く。<br>・カードを色分けして書く。<br>・自分のグループに入って、カードを書く。<br><div>夏をかんじることばを見つけよう。</div> |  | ○絵を手掛かりに、夏に関する言葉を探す。<br>○「みんな」を音読する。<br>○今日のめあてを確認する。 |  |
| 10分                                                                |  | 25分                                                                                                                 |  | 10分                                                                                               |  | 時間                                                    |  |
| ・次時では、p.24のカードに今回の中から一枚を選び書くことや、写真撮ってきてもよいことを伝える。                  |  | ☆身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。<br>〈発言・記述〉<br>(知)                                                     |  | ・タブレットの活用の仕方やルールを徹底する。                                                                            |  | ・指導上の留意<br>☆評価方法(観点)                                  |  |